

バスケット選手と交流

葵区の子ども食堂 鬼ごっこやドッジボール

バスケットボールBリーグ3部ベルテック静岡の選手が26日、静岡市葵区の松富団地集会所で開かれた「子ども食堂」を訪れ、地元の子どもたちと触れ合った。

同団地で毎月開かれる「井宮北しようぶ子ども食堂」の運営を支

援し、ベルテックス静岡とオフィシャルクラブパートナー契約を結ぶアイワ不動産が企画した。山下颯選手、加納誠也選手、村越圭佑選手の3人が、夕食前の園児、児童ら約50人と鬼ごっこやドッジボールで交流を深めた。

運動後には子どもたちから選手への質問コーナーも。今季チームに加入した同区出身の村越選手は「静岡で多くの人に育ててもらった。自分も静岡の子どもたちのためにできることをしたい」と力強く目標を語った。

(社会部・塩谷将広)



子どもたちと交流するベルテックス静岡の選手ら